

“家族支援”

- ・体調や行動の変化などをご家族と共有することにより、ご家族や本人が安心して生活を送れるよう支援します

“地域支援・地域連携”

- ・各関係機関で情報を共有し、日常生活や支援に活用するための具体策を話し合いながら役割分担を行います
- ・行事へのお誘いや、地域イベントへの参加、地域のお店での買い物、地域の学校のグラウンド開放時の関わりなどを通じて交流を図ります

“移行支援”

- ・保護者や、学校・学童などの社会資源と情報を共有しながら繋がりを持ち、地域との交流を通して将来的な以降に向けての準備を進めます
- ・様々なプログラムを通じて、自立した社会生活へのスムーズな移行を目指して支援を行います

“法人理念”

一人一人のできた！を大切に、笑顔いっぱいの未来へ “つなげる支援”

子ども期に年代ごとに関わることができるマザーズハウスの強みを活かし、つむぎ(2歳～)からきずなStep(小学校低学年)、きずな2nd(小学校高学年)、はばたき(～18歳)へと歩を進めながら、子どもたちにはライフスキル(日常生活のためのスキル)・ソフトスキル(社会生活のためのスキル)・ハードスキル(所属先で過ごすためのスキル)を身につけてもらいたいと考えています。セラピスト(OT、PT、ST)が事業所ごとに組み立てた専門的支援プログラムを実施したり、様々な生活体験やお仕事体験、チャレンジプログラム等を積み重ねることで、それぞれの自立や就労へ向けた選択へと繋げていきます。



つむぎ

きずなStep

きずな2nd

はばたき